



市の遊休地 売却への有効策

市の遊休地の有効活用について

議員

市の遊休地について以前、質問したが、その後の進展はどうなっているか。

企画部長

市で保有している遊休地については、基本的に売却を進めているが、旧自動車学校や旧石下庁舎の敷地など具体的な活用方法が決定されない土地もある。これらの土地は広大であるため活用方法が限られてしまい、売却するにも価格が高額となるため、なかなか買い手が見つからない現状である。

議員

自動車学校の跡地は、居住地のため工業などは誘致できない。また、面積もかなり広いので1筆で買うというのは多分無理だと思う。だから、60坪とか70坪とかで分譲するという手もあるのではないか。もう一点は、3年前くらいに総合振興計画の中で、石下庁舎と福祉センターに常総市でつくったお米とか野菜などを持ち寄るような直売所をつくるという答申が出たが、そ

れから何もやっていない。どうなっているのか。

企画部長

分筆して宅地にしてという御提案については、土地利用検討委員会と議員の皆様にご相談しながら方針を決定していきたい。交流センター東側地区の旧石下町の東部拠点整備地区については、24年度の総合計画後期基本計画の策定時に茂田議員からも農業の6次産業化の御提案をいただいたが、その後アグリサイエンスバレー構想ができ、東部拠点整備地区のふれあい広場予定地整備との整合性が図れていない状況である。土地利用検討委員会を開催し、残されている2つの用地の優良な整備方針を決定していきたいと考えている。



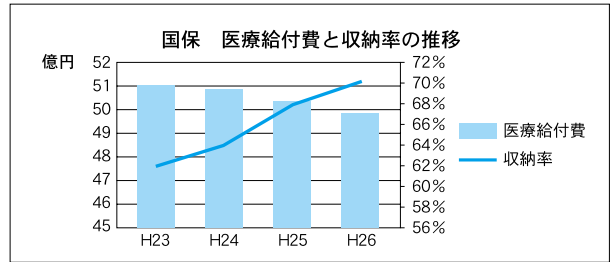
旧自動車学校

□ 〇 〇 〇 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 〇 〇 〇

国保財政 なぜ好転？



当市の国民健康保険制度の改正について



議員

一般会計から国保への繰り入れは、23年度は9億円であったが、26年度は4億円であり、5億円も改善されている。これは、予防や健康政策に力を入れていくという担当部署の努力の結果の反映だと思うが、この点をどう考えているか。

保健福祉部長

医療費縮減のため、特定保健指導を強力に実施していく必要があるとの考えから、健康保険課に保健師・管理栄養士を配置して事業を推進した結果、医療



費の減少につながる一定の効果があったものと受け止めている。

議員

当市は26年4月から資産割を廃止したが、この効果は出ているのか。

保健福祉部長

収入がない世帯でも土地などを持つているため税金がかかってしまい、税金を納めたくても納められないといった苦情が寄せられていたが、そういう状況は、是正されたと考えている。

議員

何をしても税金がいろいろかかるということ、低所得者にとつて税金は大変重くのしかかっている現状である。市も苦しい台所事情の中で、負債の削減を達成されていることで評価してもいいのではないかとと思う。

市長

国保財政は、3年間で5億円一般会計にお金を戻すことができた。これは非常に画期的だと考えている。担当職員の地道な努力、それから早期受診、早期治療に政策転換したことでのいい結果が出てきたと考えている。また、毎年5億円くらいの予算が一般会計に戻ってくるとすれば、ほかの政策に有効に活用していきたいと思っている。